資料1－4

令和2年　月　日

デロイトトーマツコンサルティング合同会社

TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析支援事務局宛

**TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析支援事業
応募申請書**

TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析支援事業について、公募正式書類の記載内容に同意のうえ、下記のとおり応募します。

|  |
| --- |
| 1. 申請者
 |
| 応募企業名 |  | 印 |
| 業種（いずれかを選択） | エネルギー/運輸/素材/農業・食糧・林業製品/金融/その他（自由記載：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 部署名、役職、氏名 |  |

|  |
| --- |
| 1. 連絡担当者 （2名までご記入いただけます）（役職規定等はございません）
 |
|  | 担当者① | 担当者② |
| 部署名等 |  |  |
| 役職等 |  |  |
| ふりがな氏名 |  |  |
|  |  |
| e-mail アドレス |  |  |
| 電話番号 |  |  |
| 住所 | 〒 | 〒 |

|  |
| --- |
| 1. 支援を受けた後の結果の公開について（希望するものに○）
 |
| 1. ①支援後の結果を全て公開してよい
 |  | ⇒（４）にお進みください |
| ②数値情報（※）を除いて結果を全て公開してよい（※※）（※売上推移、財務影響　等）（※※公開に関しては、昨年度の支援結果である『TCFDを活用した経営戦略立案のススメ～気候関連リスク・機会を織り込むシナリオ分析実践ガイドver2.0～』 <http://www.env.go.jp/policy/policy/tcfd/TCFDguide_ver2_0_J.pdf> を参照） |  | ⇒（４）にお進みください |
| ③その他非公開情報があれば、その詳細をご記入ください | 【公開できない情報について詳細をご記入ください】　　　　　　　　　　　　　 |

|  |
| --- |
| 1. TCFDへの賛同状況・シナリオ分析の開示予定について（該当するものに○）
 |
| ①TCFDへの賛同状況について | 賛同している | 賛同を予定している | 賛同していない |
| 1. TCFDの提言を踏まえたシナリオ分析の

開示について | 開示を予定している | 未定 |

|  |
| --- |
| 1. TCFD・シナリオ分析に対する経営層の理解および実施に向けた社内体制
 |
| TCFDおよびシナリオ分析に対する経営層の理解 | 経営層が意義を認識しており、本事業への協力の了承を得ている | 経営層の理解は獲得できていないが、本事業への協力要請は可能 |
| シナリオ分析実施にあたる社内体制 | 関連部署（事業部、経営企画等）の参加が可能 | 事務局となる単一部署のみが参加 |
| 【参加可能な部署について詳細をご記入ください】 |

|  |
| --- |
| 1. 気候変動関連の取り組みについての情報開示
 |
| 気候変動に関する取り組みの開示状況 | 【情報開示媒体とその記載内容についてご記入ください】 |

|  |
| --- |
| 1. 長期経営戦略の策定状況
 |
| 長期経営戦略 | 【長期（2030～2050年）にかけて、自社の経営戦略を策定している方は詳細内容についてご記入ください】 |

|  |
| --- |
| 1. 気候変動に関するシナリオ分析の実施状況
 |
| TCFDのフレームワークに沿ったシナリオ分析の実施経験がない | □ |
| シナリオ分析の対象となる事業・部門 | 【シナリオ分析の対象となる事業・部門が既に決まっている方はご記入ください】 |
| 気候変動に関するシナリオ分析の実施の希望理由 | 【シナリオ分析の実施を希望する理由をご記入ください】 |

|  |
| --- |
| 1. スコープ1,2の算定状況
 |
| スコープ1 | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください】 |
| スコープ2 | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください】 |

|  |
| --- |
| 1. CDPのスコア（2019年度、気候変動）
 |
| 2019年度CDPスコア（該当しているものに○） | A | B | C | D | F |
| A- | B- | C- | D- | なし |

|  |
| --- |
| 1. GHG排出量削減に向けた取り組みの状況（任意）
 |
| GHG排出量の削減に向けた取り組みの内容（例：再エネの導入、革新的技術開発　等） | 【取り組みの詳細内容をご記入ください】 |
| 取り組みにおける課題 | 【取り組みにおける課題は何か、ご記入ください】 |

|  |
| --- |
| 1. SBTの参加状況（任意）
 |
| SBTの現状の取り組み状況（該当しているものに○） | 取り組み済 | 検討中 | 未実施 |

|  |
| --- |
| 1. スコープ3の算定状況　※各カテゴリに該当しうる活動を算定している場合は、以下の欄にご記入ください（任意）
 |
| カテゴリ | 現在の排出量と算定範囲 |
| 1 | 購入した物品・サービス |  |
| 2 | 資本財 |  |
| 3 | Scope1,2以外のエネルギー関連活動 |  |
| 4 | 上流の輸送・流通 |  |
| 5 | 廃棄物 |  |
| 6 | 出張 |  |
| 7 | 通勤 |  |
| 8 | 上流のリース資産 |  |
| 9 | 下流の輸送・流通 |  |
| 10 | 販売した製品の加工 |  |
| 11 | 販売した製品の使用 |  |
| 12 | 販売した製品の廃棄 |  |
| 13 | 下流のリース資産 |  |
| 14 | フランチャイズ |  |
| 15 | 投資 |  |
| その他 |  |

以上

資料1－4

令和2年○○月××日

デロイトトーマツコンサルティング合同会社

TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析支援事務局宛

**TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析支援事業
応募申請書**

**＜記入例＞**

TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析支援事業について、公募正式書類の記載内容に同意のうえ、下記のとおり応募します。

|  |
| --- |
| 1. 申請者
 |
| 応募企業名 | 社印、決裁権限者の印などの公的な印鑑をご使用ください。 | 印 |
| 業種（いずれかを選択） | エネルギー/運輸/素材/農業・食糧・林業製品/金融 /その他（自由記載） |
| 部署名、役職、氏名 |  |

|  |
| --- |
| 1. 連絡担当者 （2名までご記入いただけます）（役職規定等はございません）
 |
|  | 担当者① | 担当者② |
| 部署名等 |  |  |
| 役職等 |  |  |
| ふりがな氏名 |  |  |
|  |  |
| e-mail アドレス |  |  |
| 電話番号 |  |  |
| 住所 | 〒 | 〒 |

|  |
| --- |
| 1. 支援を受けた後の結果の公開について（希望するものに○）
 |
| ①支援後の結果を全て公開してよい | ○ | ⇒（４）にお進みください |
| ②数値情報（※）を除いて結果を全て公開してよい（※※）（※売上推移、財務影響　等）（※※公開に関しては、昨年度支援結果である『TCFDを活用した経営戦略立案のススメ～気候関連リスク・機会を織り込むシナリオ分析実践ガイドver2.0～』<http://www.env.go.jp/policy/policy/tcfd/TCFDguide_ver2_0_J.pdf> 参照 |  | ⇒（４）にお進みください |
| ③その他公開載情報があればその詳細をご記入ください | 【公開できない情報について詳細をご記入ください】　　　　　　　　　　　　　 |

|  |
| --- |
| 1. TCFDへの賛同・対応予定について（該当するものに○）
 |
| ①TCFDへの賛同状況について | 賛同している | 賛同を予定している | 賛同予定なし |
| ②TCFDの提言を踏まえた対応状況について | 気候関連の財務情報を開示予定 | 未定 |

|  |
| --- |
| 1. TCFD・シナリオ分析に対する経営層の理解および実施に向けた社内体制
 |
| TCFDおよびシナリオ分析に対する経営層の理解 | 経営層が意義を認識しており、本事業への協力の了承を得ている | 経営層の理解は獲得できていないが、本事業への協力要請は可能 |
| シナリオ分析実施にあたる社内体制 | 関連部署（事業部、経営企画等）の参加が可能 | 事務局となる単一部署のみが参加 |
| 【参加可能な部署について詳細をご記入ください】＜例＞CSR部が事務局として参加。ほかに営業部、経営企画部の2部署と既に交渉済みであり、参加可能 |

|  |
| --- |
| 1. 気候変動関連の取り組みについての情報開示
 |
| 気候変動に関する取り組みの開示状況 | 【情報開示媒体とその記載内容についてご記入ください】＜例＞* 統合報告書（20XX年度）

自社およびサプライチェーンにおけるCO2排出量を8億トン削減* サステナビリティレポート（20XX年度）

環境負荷の低いバイオ燃料の開発を推進。2025年までの事業確立を目標として取り組んでいる |

|  |
| --- |
| 1. 長期経営戦略の策定状況
 |
| 長期経営戦略 | 【長期（2030～2050年）にかけて、自社の経営戦略を策定している方は詳細内容についてご記入ください】＜例＞* 中期経営計画「X社将来ビジョン2030」を策定。2030年時点の売上計画および将来ポートフォリオについての見通しを立てている
 |

|  |
| --- |
| 1. 気候変動に関するシナリオ分析の実施状況

✔ |
| 実施経験がないことを確認 （確認のうえ署名ください） | □ |
| シナリオ分析の対象となる事業・部門 | 【シナリオ分析の対象となる事業・部門が既に決まっている方はご記入ください】 |
| 気候変動に関するシナリオ分析の実施の希望理由 | 【シナリオ分析の実施を希望する理由をご記入ください】＜例＞ステークホルダーから気候関連のシナリオ分析実施に関する問い合わせが増えてきているため |

|  |
| --- |
| 1. スコープ1,2の算定状況
 |
| スコープ1 | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください】＜例＞2019年度排出量　123,456 t-CO2／年本社のみ温対法の定期報告において把握済 |
| スコープ2 | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください】＜例＞2019年度排出量 7,890 t-CO2／年本社のみ温対法の定期報告において把握済 |

|  |
| --- |
| 1. CDPのスコア（2019年度、気候変動）
 |
| 2019年度CDPスコア（該当しているものに○） | A | B | C | D | F |
| A- | B- | C- | D- | なし |

|  |
| --- |
| 1. GHG排出量削減に向けた取り組みの状況（任意）
 |
| GHG排出量の削減に向けた取り組みの内容（例：再エネの導入、革新的技術開発　等） | 【取り組みの詳細内容をご記入ください】＜例＞「2030年までに温室効果ガス排出量を半減する」をグループ共通の目標として掲げており、そのために以下2つの活動に取り組んでいる。①工場における二酸化炭素排出量の削減②廃棄物の再利用による二酸化炭素排出量の削減 |
| 取り組みにおける課題 | 【取り組みにおける課題は何か、ご記入ください】＜例＞グループ会社、関係企業の排出量把握がハードルとなっている。 |

|  |
| --- |
| 1. SBTの参加状況（任意）
 |
| SBTの現状の取り組み状況（該当しているものに○） | 取り組み済 | 検討中 | 未実施 |

|  |
| --- |
| 1. スコープ3の算定状況　※各カテゴリに該当しうる活動を算定している場合は、以下の欄にご記入ください（任意）
 |
| カテゴリ | 現在の排出量と算定範囲 |
| 1 | 購入した物品・サービス | 1,234,000 t-CO2／年一部の製品においてLCAを実施しており、製品製造までに生じる排出量を把握済 |
| 2 | 資本財 | 未算定 |
| 3 | Scope1,2以外のエネルギー関連活動 | 5,678 t-CO2／年本社のみ算定済 |
| 4 | 上流の輸送・流通 | 9,000 t-CO2／年国内グループ会社について算定済 |
| 5 | 廃棄物 | 123,000 t-CO2／年国内・海外グループについて算定済 |
| 6 | 出張 | 未算定 |
| 7 | 通勤 | 未算定 |
| 8 | 上流のリース資産 | 該当なし |
| 9 | 下流の輸送・流通 | 未算定 |
| 10 | 販売した製品の加工 | 該当なし |
| 11 | 販売した製品の使用 | 1,234,567 t-CO2／年一部の製品においてLCAを実施しており、製品使用段階の排出量を把握済 |
| 12 | 販売した製品の廃棄 | 8,900　t-CO2／年一部の製品においてLCAを実施しており、製品廃棄段階の排出量を把握済 |
| 13 | 下流のリース資産 | 該当なし |
| 14 | フランチャイズ | 該当なし |
| 15 | 投資 | 未算定 |
| その他 | 未算定 |

以上